

特別支援学級・特別支援学校のこと

「どこで学ぶか」を決める前に、二人で見ておく紙です。



「特別支援」と聞くほど、遠い場所の話ではありません。

ただ、相談の受付には期間があります。
気づいたときには次の年、ということが起こります。

呼び名も、相談の時期も、住んでいる市区町村でちがいます。
ここに書けるのは、どこで聞けばいいか、までです。

学びの場のことで、引っかかっていること

あてはまるものにだけ印を。全部につける紙ではありません。右は、相談で聞いてみたいものに丸をつけてください。

- | | | | |
|--|--------------|---|--------------|
| ☐ 特別支援学級と通級のちがいが、はっきりわかっていない | 聞きたい・もう知っている | ☐ 本人に、どう説明すればいいのかわからない | 聞きたい・もう知っている |
| ☐ 見学ができるのか、いつ見に行けるのかを知らない | 聞きたい・もう知っている | ☐ まわりの子と過ごす時間が、減ってしまうのではないと思う | 聞きたい・もう知っている |
| ☐ いつまでに相談すればいいのかを知らない | 聞きたい・もう知っている | ☐ きょうだいや近所に、どう見えるかが気になる | 聞きたい・もう知っている |
| ☐ 最後に決めるのは誰なのか（親か、学校か、市区町村か）を知らない | 聞きたい・もう知っている | ☐ 中学・高校に上がるときに、どうつながるのかを知らない | 聞きたい・もう知っている |
| ☐ 一度決めたら、あとから変えられるのかを知らない | 聞きたい・もう知っている | ☐ まだ、そこまでの状態ではないと思っている | 聞きたい・もう知っている |
| ☐ 通学のしかたや時間が、どう変わるのかを知らない | 聞きたい・もう知っている | ☐ 学びの場の話、まだ二人で一度もしていない | 聞きたい・もう知っている |
| ☐ 学ぶ内容や進み方が、いまどう変わるのかを知らない | 聞きたい・もう知っている | ☐ どちらかは相談したい、どちらかはまだ早い、で止まっている | 聞きたい・もう知っている |

学びの場には、こういう形があります 呼び名も決め方も、自治体でちがいます

通級 いつもの学級に籍を置いたまま、**一部だけ**別の場所で受ける形です。

特別支援学級 いつもの学校の中にある、少人数の学級です。

特別支援学校 別の学校に通う形です。人数も、教える内容も変わります。

決めたあとも、相談の場はある 入学してからの相談を受けている窓口もあります。進め方は自治体でちがいます。

どれも、見学して・相談して・申し込んで、と段階があります。**決める日の前に、動きは始める時間が必要です。**

この先、どこに聞くか（2つだけ）

1 「お住まいの市区町村名＋就学相談」で調べて、出てきた窓口に電話で聞く

「学びの場のことで相談したい」と伝えれば、いつまでに何をするかを教えてください。受付の期間も見学のしかたも自治体でちがいます。就学先を最後に決めるのは、市区町村の教育委員会です。

2 いまの園・学校の先生にも、同じことを聞いてみる

毎日を見ている人の見立ては、相談のときにいちばん効きます。**ちがう答えが返ってきても、それも情報です。**両方を持って窓口へ行けます。

この紙は検査でも診断でもありません。ご相談のときに「どこから話すか」を決めるための材料です。

このシリーズは、1枚ずつ増えていきます。

いま起きていること — 朝の支度／食事／お風呂から寝るまで／おでかけ・買い物／園・学校／ときどき起きること

この先の見通し — 療育手帳／特別支援学級・特別支援学校／進路と仕事／頼れる先の地図／大人になってからの暮らしとお金